



平成28年8月1日

各位

上場会社名 昭和シェル石油株式会社
 代表者 代表取締役社長グループCEO 亀岡 剛
 (コード番号 5002)
 問合せ先責任者 執行役員経理財務統括部長 坂田 貴志
 (TEL 03-5531-5594)

平成28年12月期第2四半期(累計)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年2月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	840,000	6,000	6,000	△4,000	△10.62
今回修正予想(B)	851,500	15,600	13,200	5,200	13.81
増減額(B-A)	11,500	9,600	7,200	9,200	
増減率(%)	1.4	160.0	120.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年12月期第2四半期)	1,148,480	13,898	13,745	8,996	23.89

平成28年12月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	760,000	8,000	△1,000	△2.66
今回修正予想(B)	763,000	21,800	12,600	33.45
増減額(B-A)	3,000	13,800	13,600	
増減率(%)	0.4	172.5	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年12月期第2四半期)	1,043,235	12,926	7,371	19.57

修正の理由

前回公表時の業績予想に対して、石油製品マージンの低迷や太陽光発電所販売の遅れ等による減益が見込まれるものの、原油価格が想定価格よりも上昇したことに伴う棚卸資産評価の影響額の増加等による増益により、平成28年12月期の第2四半期(累計)における営業利益、経常利益、四半期純利益が前回予想を上回る見通しとなりました。棚卸資産の評価の影響を除いた場合の連結経常利益相当額につきましては、第2四半期(累計)で160億円程度となる見込みであります。

なお、平成28年12月期通期業績予想につきましては、前回公表数値を据え置いております。今後、業績予想の修正が必要になった場合には速やかに開示いたします。

(注)

上記の業績予想は、本資料の発表日現在における情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、当社グループの業績は、経済情勢や市場動向並びに為替レートの変動等の要因により記載の予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上